障害者福祉ガイド

本　庄　市

令和5年度（2023年度）

この「障害者福祉ガイド」は、障害のある方に各種の福祉施策の概要とサービスの窓口を紹介し、日常生活の手引きとしてご活用いただくために作成しました。

令和５年４月１日現在の内容で編集しています。制度などの内容は、変更になる場合がありますので、詳しくは各窓口にお問い合わせください。

また、サービスや手当等の受給申請にあたっては、該当にならない場合もありますので、詳しくは各窓口にお問い合わせください。

盲目の国学者 塙 保己一

塙 保己一

はなわ　　ほきいち

■生年　　延享３年（1746 年）

■没年　　文政４年（1821 年）

盲目の国学者 塙 保己一は、江戸時代の延 享 ３年 (1746年) ５月５日武蔵国児玉郡保木野村（現本庄市児玉町保木野)に生まれました。

保己一は、７歳のとき病気で失明し、１５歳で単身江戸に出て、当時の盲人社会の指導者である雨富検 校の元で按摩や針、 灸 などを修 行しましたが、一念発起して学問の道を志 し、本人の努力と好意ある人々の助 力で重い障 害を乗りこえて大学者となり、また盲人の最高位である総 検 校にまで登りました。

大学者となった保己一は、和学講談所（東 京大学史料編さん所の前身）の開設、「大日本史」（水戸光圀が作り始めた歴史書）の校正、そして日本最大の叢書「群 書 類 従」の編さんと刊行などの大きな事業を成し遂げました。

特に、「群 書 類 従」の編さんは、保己一が生 涯をかけて取り組んだ一大事業でした。保己一は、価値のある古い書物や貴重な記録が 将 来無くなってしまうことを心配し、数多くの古書文献を集めて分類・整理し、４１年間をかけて文政２年（1819年）「群 書 類 従」正編６７０巻に編さんして刊行しました。「群 書 類 従」は、日本史や日本文学等を研 究するために不可欠で貴重な資料を後世に伝えるものとなりました。

また、保己一は、盲人社会の改革に努力し、私利私欲のない人柄と偉大な業 績 は、「奇跡の人」ヘレンケラー女史をはじめ多くの人々に尊敬されることになりました。

重い障 害を克服し、障 害のない人にも困難な大事業を成し遂げ、人々から尊敬された塙 保己一は、「共 生 社会の創造」、「ノーマライゼーション」、「リハビリテーション」という基本理念を江戸時代に実践した偉大な先人であります。